



〒520-0041
滋賀県大津市浜町1-38
滋賀銀行従業員組合
TEL 077-521-2775
FAX 077-525-5232
Mail info@sbu-ffs.com
URL http://sbu-ffs.com/

地域の労働者や金融労連の仲間とともに、 働きたい・生きがいのある職場・社会を目指し、 多くの労働者と交流を深めながら運動を進めよう

滋賀銀行従業員組合第119回定期大会

10月24日、守山市において第119回定期大会が開催されました。大会には、全組合員と先輩組合員21名（年金者部会総会参加者を含む）が参加し、活発な議論が行われました。

なお、大会には金融労連・近畿地協岡野議長、滋賀県労連山元事務局長（挨拶は波紋400号記念レセプションで受けました）、日本共産党滋賀県委員会から藤井県議会議員の3氏から激励の挨拶を受けました。

定期大会は八軒副委員長 率いている。また、自民党の開会宣言で始まり、議長 支持率は33%であり「国民に小原執行委員を選出し進 に信任された」と言う表現が確認され、はじめに中島 べました。

自民党の支持率は33% 「信任された」は当たらない

「核兵器禁止条約」の採択は 草の根の運動の大きな成果

中島委員長は、10月22日 模のテロ、気候変動、格差に投票が行われた衆議院 選挙の結果に触れ、改憲勢力が3分の2を占めたこと 7月の国連会議で「核兵器は注意が必要だが、直近の 禁止条約」が採択され、調査で安倍内閣の支持率は 下に、改憲については半 数以上が反対であると示さ



国内経済は、アベノミク

実感の伴わない景気拡大 労働分配率は歴史的低水準

作り上げた大きな成果の一つです。しかし、日本政府は、会議にも出席せず署名もしないと言われていきます。私たち国民は様々な問題を風化させず、権力に対しては常にチェックする姿勢を持ちながら、今後も草の根の運動を続けていくことが大切です。

2017年下期臨給要求

- 支給額
 - 行員・専任行員
 - 行員 11月末定例給与×315%
 - 嘱託・特定業務嘱託
 - 嘱託 11月末定例給与×300%
 - 特定業務嘱託 11月末定例給与×200%
- 支給基準
 - 行員・専任行員
 - ①315%は11月末定例給与のスライドとする。
 - ②全員2017年上期支給額を最低保障とする。
 - 嘱託・特定業務嘱託
 - ①嘱託300%は11月末定例給与のスライドとする。
 - ②特定業務嘱託200%は11月末定例給与のスライドとする。
 - ③嘱託・特定業務嘱託とも2017年上期支給金額を最低補償とする。
 - (1)(2)とも11月末定例給から子ども手当・資格手当は減額しない。
 - 関連会社の従業員・派遣労働者に対しても、同基準の改善をはかるよう関連会社に働きかけ実現すること
- 支給日 2017年12月8日（金）

誰でもスライド315%補償の流れを実現したと総括しており、下期要求は行員スライド315%を基本にします。

**すべての人に
上期実績額を補償せよ**

（3）人事制度は10月1日でスタートしましたが、旧考課による査定であり、上期実績額をすべての人に補償し、（2）を上乗せします。

（4）定例給与から子ども手当の減額を中止します。

（5）新入行員の定額制に反対し、定例月収スライド方式で増額をはかります。

**産前産後休暇中の
臨給は100%支給を**

（6）産前産後休暇中の臨給について、全額支給をはかります。

（7）パートタイマーの臨給については就業時間数に応じて受給できるように改善をはかる。25才1級の平均定例給与に200%を乗じた額を支給基準とします。

なぜこの要求を行うのか

2017年上期臨給は「臨給カット残り15%の復辟要求をしました、4年目にして『前期支給実績のスライドに12.5%上乗せ』の回答を引き出しました」誰でも315%のスライド補償の流れを実現したと総括しました。

この流れを大切に、新人事制度は10月1付けでスタートしましたが、2017年上期支給額を補償させ、行員315%のスライド要求を基本に滋賀銀行（関連会社含む）で働く全ての人の臨給改善をはかる要求を組成しました。

全議案を可決決定

つぎに来賓の2氏から挨拶を受けました。つづいて、諸報告を山崎執行委員が行い承認されました。

第1号議案「2017年度運動方針について」澤井書記長から提案され、第2号議案「16年度決算・17年度予算」は谷執行委員、第3号議案「上部団体役員派遣について」中島委員長、第4号議案「下期臨給要求決定について」八軒副委員長が提案しました。

審議の結果、全議案を可決決定しました。

**行員スライド
315%が基本**

以下は、下期臨給要求の要求説明です。

（1）当行で働くすべての人の臨給改善をはかります。

（2）2017年上期臨給に「カット残り15%の要求に対し12.5%の上乗せ」を実現しました。総括では



機関紙「波紋」400号記念レセプション

創刊1983年10月14日から34年



「従業員組合の主張」や「職場のどきどき」をつづる機関紙「波紋」

10月24日午後4時より、守山市において、機関紙「波紋」400号記念レセプションが開かれました。同日開催された滋賀銀行従業員組合定期大会と年金者部会総会に参加した組合員と先輩組合員など27人が参加しました。

平和への願いを シャンソンにのせて

レセプションの第1部は、八軒副委員長の司会で進められました。

平和への願いをシャンソンにのせて、森みちさんのミニコンサートでした。百本のバラ、永遠の絆、花の恋、組合の卒業生として、またお客の一人として意見を寄せて欲しい」と挨拶しました。



「波紋」400号記念のつどい
レセプションの第1部は、八軒副委員長の司会で進められました。

見の恋人、愛の賛歌など皆さんの歌とソフトラな語り口に魅了され、あつという間に40分でした。

第2部は、澤井書記長の司会で進行し、最初に中島委員長が「500号をめざし頑張る。その時、職場がどうなっているのかの思

10月24日、守山市において第16回滋賀銀行従業員組合・年金者部会総会が開催されました。総会には、同部会員21名が参加され、従組組合員も参加しました。



和田部会長は挨拶のはじめに輪転機募金への協力にお礼を述べ、つぎに「総選挙をめぐり、まともな理由や説明のない解散。昨日まであった政党がなくなったが、今までの主張は何だったのか。異常な日本の常識だ。私たちは正しい道を胸を張って守っていく。子どもや孫に恥じることなく語れるようにしたい」と話されました。つづいて、中島従組委員長の挨拶を受け議事が進められました。

総会では、谷事務局長から「経過報告と決算、新年度の取組と予算」、和田部会長から「役員改選（全員留任）、輪転機募金（部会

最後に、倉見世話人の挨拶で総会は終わりました。10月21日に開催された金融労連近畿地協第12回定期大会は次号に掲載します。

「波紋」400号記念レセプション
2017年10月24日



その後、参加者から機関紙に関することや近況などが語り合われ和やかに懇談がされます。最後に、山崎執行委員が閉会の挨拶を述べ、レセプションを閉じました。

また、古田世話人から「ちぎんの会開催について次回は、西部地協加盟（含む地銀連本部）中心に開催するので、開催地などの意見を寄せて欲しい」と報告がありました。澤井世話人からは、最近の組合活動状況について、人事制度を中心に話がされました。

で、みんなで苦労している。昨年の1月よりホームページをリニューアルし、広く、早く伝える媒体として大いに活かしたいと考えている」と述べました。

機関紙は、伝えること、届けること、残すこと。



次に、来賓の滋賀県労連山元事務局長は、総選挙の野党共闘や準備中の「総がかり行動」過労死防止にならない「働き方改革」「労働法の改悪に共に闘おう」と最初に述べ、波紋についてご自身の経験から「継続は大変なことである。機関紙は、伝えること、届けること、残すこと、残すことが大事な役割、400号に敬意

次に、波紋の編集を担当する谷執行委員が400号記念縮刷版発行について「波紋は、1983年10月14日に山田啓一さんを編集長に創刊号が発刊された。波紋は執行部全員が編集委員であり、301号から編集責任者をしてきた。発刊当初は手書きであったが、現在は編集ソフトを使うので作業は楽になったが、記事や写真の準備までが大変



イロハであり鉄砲を担いで行軍していた。自殺やきな臭い時代を作らない為に頑張ろう」と話されました。



時までも続けて欲しい」と述べられました。

創刊時の委員長 倉見さんが「乾杯」

倉見さんは「第1号から関わった一人として感無量である。波紋の題字は、吉田元県労連議長による。その波紋が職場に大きな波紋を拡げてきた。400回を迎え歴史を感じる。私の時代は、音楽もドレミでなく

組合「ユース」や機関紙 少数組合の武器

池田泉州従組委員長（近畿地協議長）の岡野さんは「私も『波紋』のファンです。毎号のどの記事内容も、今伝えなければならぬことをキチンと伝えている。一人組合では、ニュースや機関紙が武器であり、大事なことはすぐにニュースで知らせている。見ている人から声をかけて貰っている。頑張るって、何時までも続けて欲しい」と述べられました。

を表す」と結ばれました。